

平成29年度「県政お届け講座」テーマ一覧

※ テーマ名のリンクを押すと申込のための電子申請システム画面に移行します。

分類	テーマ番号	テーマ名	内容	連絡先
子育て・教育・学習	1-2	「あいち食育いきいきプラン」について	「あいち食育いきいきプラン2020」は、県民の皆さんが「食育」に主体的に取り組んでいただくための指針として、また、県や関係団体等が取組を推進するための基本となるものとして作成しました。この「あいち食育いきいきプラン2020」の内容について御説明します。	食育消費流通課 食育推進グループ TEL: 052-954-6396 FAX: 052-954-6940 shokuiku@pref.aichi.lg.jp
子育て・教育・学習	1-10	総合型地域スポーツクラブについて	総合型地域スポーツクラブとは、住民が主体的に運営し、多世代・多種目にわたっているいろいろなスポーツに親しめる非営利のクラブのことです。愛知県では、各市町村とともにこの新しいタイプのクラブづくりを進めていますので、その取組について御説明します。	教育委員会 保健体育スポーツ課 スポーツグループ TEL: 052-954-6797 FAX: 052-961-0639 sports@pref.aichi.lg.jp
子育て・教育・学習	1-12	地域で守る子どもの安全 ～学校安全ボランティア(スクールガード) について～	通学路での見守りや登下校の付き添いなど、子どもたちを事件や事故から守る学校安全ボランティア(スクールガード)の活動は、安全で安心な社会を築く大きな力となっています。ここでは、スクールガード活動の意義や目的について御説明し、参加者の皆様と一緒に子どもを守る活動について考える機会とします。	教育委員会 保健体育スポーツ課 健康学習室 安全グループ TEL: 052-954-6829 FAX: 052-954-6965 kenkogakushu@pref.aichi.lg.jp
福祉・人権・男女共同参画	2-1	人権への気づき	人権問題は、私たちの身近なところに存在し、自分の周辺でいつでも起こりうる問題です。人権にかかわる愛知県の取組を御説明するとともに、日常生活の中にある様々な人権問題の解説を通して、人権について考えるきっかけとなる場を御提供します。	県民総務課 人権推進室 人権推進グループ TEL: 052-954-6167 FAX: 052-973-3582 jinken@pref.aichi.lg.jp
福祉・人権・男女共同参画	2-3	あいちの健康福祉 ～健康福祉ビジョンの推進～	愛知県では、団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据え、健康福祉全般にわたる包括的な視点に立ち、将来の健康福祉のあるべき姿や各分野の横断的・重点的な取組の方向性を示すビジョンを策定しています。ビジョンの考え方や各分野の具体的な取組・主要施策等を紹介しながら、ビジョンの概要について御説明します。	医療福祉計画課 企画・調整グループ TEL: 052-954-6316 FAX: 052-953-6367 iryofukushi@pref.aichi.lg.jp
福祉・人権・男女共同参画	2-4	生活困窮者の方を支援隊 ～生活保護制度等について～	生活保護制度や生活困窮者自立支援制度を紹介し、愛知県が行っている施策等について御説明します。	地域福祉課 生活保護グループ TEL: 052-954-6263 FAX: 052-954-6945 chiikifukushi@pref.aichi.lg.jp
福祉・人権・男女共同参画	2-8	介護保険のしくみについて	本県においても、急速な高齢化が進んでおり、今後、介護への関心が更に高まっていくことと思われます。そこで、「どのような介護サービスがあるのか」、「介護サービスを受けるにはどうすればよいのか」を初めとして、要介護認定や介護保険料のしくみなどについて、分かりやすく御説明します。	高齢福祉課 介護保険企画・審査グループ TEL: 052-954-6288 FAX: 052-954-6919 korei@pref.aichi.lg.jp
福祉・人権・男女共同参画	2-9	みんなに「ハンセン病のこと」知らせ隊 ～ハンセン病について～	ハンセン病はらい菌による感染症です。その感染力は非常に弱く、発病することはまれで、発病しても早期に治療すれば後遺症もなく治癒します。しかし、ハンセン病は怖い病気という誤解から、ハンセン病にかかった人々は、長い間人権を侵害されてきました。再び過ちを繰り返さないよう、ハンセン病について学んでみませんか。	健康対策課 原爆・難病企画グループ TEL: 052-954-6268 FAX: 052-954-6917 kenkotaisaku@pref.aichi.lg.jp
福祉・人権・男女共同参画	2-10	障害を理由とする差別の解消の推進につ いて ～障害者福祉～	障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)及び愛知県障害者差別解消推進条例を御存知ですか。法と条例の趣旨・概要、障害を理由とする差別解消の推進を図るための愛知県の取組について御説明します。	障害福祉課 相談支援グループ TEL: 052-954-6292 FAX: 052-954-6920 shogai@pref.aichi.lg.jp
福祉・人権・男女共同参画	2-11	障害福祉制度について ～障害者福祉～	障害者の福祉施策について、県内の障害のある方の現状を説明し、障害のある方を支援する障害福祉サービス、医療、各種手当など、障害福祉制度の概要を分かりやすく御説明いたします。	障害福祉課 企画・調整グループ TEL: 052-954-6294 FAX: 052-954-6920 shogai@pref.aichi.lg.jp

平成29年度「県政お届け講座」テーマ一覧

※ テーマ名のリンクを押すと申込のための電子申請システム画面に移行します。

分類	テーマ番号	テーマ名	内容	連絡先
福祉・人権・男女共同参画	2-12	手話言語と障害者コミュニケーション ～手話言語の普及や障害の特性に応じた コミュニケーション手段の利用促進につ いて～	「手話言語の普及及び障害の特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例」を御存知ですか。条例の概要、愛知県の取組等について御説明します。	障害福祉課 地域生活支援グループ TEL: 052-954-6697 FAX: 052-954-6920 shogai@pref.aichi.lg.jp
文化・生活・交流	3-2	愛知の歴史を調べる ～県史編さん事業～	愛知県では、原始・古代から現代に至るまでのこの地域の歴史を『愛知県史』全58巻にまとめる修史事業を、平成6年度から行っています。考古、古代史、中世史、近世史、近代史、現代史に加え、民俗、文化財、自然史、更には、この地域の特徴でもある信長、秀吉、家康が活躍した時代を扱う織豊といった各部会に分かれて、県内・外で調査活動を展開しています。こうした調査の状況や結果などを交え、愛知県史編さんについて御説明します。	法務文書課 県史編さん室 企画・刊行グループ TEL: 052-972-9171 FAX: 052-953-1514 kenshi@pref.aichi.lg.jp
文化・生活・交流	3-9	多文化共生社会づくりの推進について	愛知県には、現在約22万人の外国の方が暮らしており、国籍などのちがいににかかわらず、すべての県民の皆様が多様な価値観を認め合いながら、ともに生き、ともに輝き、ともに安心して暮らせる多文化共生の社会づくりが求められています。多文化共生社会づくりを推進するための、本県の主な取組を御紹介します。	社会活動推進課 多文化共生推進室 多文化共生推進グループ TEL: 052-954-6138 FAX: 052-971-8736 tabunka@pref.aichi.lg.jp
文化・生活・交流	3-10	あいちトリエンナーレについて	あいちトリエンナーレは、3年に1度、愛知県で開催する国内最大級の国際的な現代アートの祭典です。現代美術に加え、ダンス・演劇・オペラなどの舞台芸術を同時展開します。また、まちなかでの作品展示やさまざまな普及教育プログラムがあることも大きな特徴です。開催意義や概要、あいちトリエンナーレ2016の様子や2019に向けての取組を御紹介します。	文化芸術課 トリエンナーレ推進室 調整グループ TEL: 052-971-6182 FAX: 052-971-6115 triennale@pref.aichi.lg.jp
文化・生活・交流	3-11	愛知県美術館出前講座 ～美術の楽しみ方、美術館の活用法～	愛知県美術館では、20世紀の美術を中心とした作品を収集してコレクション展で公開するとともに、幅広いテーマで企画展を開催し、また、各種の教育普及事業を実施しています。コレクションの特色や企画展、教育普及事業などについて紹介しながら、団体鑑賞を始めとする美術館の活用方法を御説明します。	愛知芸術文化センター 愛知県美術館 企画業務課・業務グループ TEL: 052-971-5511(内線311) FAX: 052-971-5617 apma-webmaster@aac.pref.aichi.jp
文化・生活・交流	3-12	くらしの中に図書館を ～愛知県図書館の知っていると便利な活 用法～	日常生活の中で困ったこと、疑問に思うことはありませんか？そんなときは図書館へ。愛知県図書館の120万冊の資料があなたの疑問を解決します。愛知県図書館の豊富な資料や、知っていると便利な図書館の使い方について御紹介します。	愛知県図書館 総務課・企画グループ TEL: 052-212-2323(内線218) FAX: 052-212-3674 kikaku@aichi-pref-library.jp
文化・生活・交流	3-13	もっと知りたい！愛知のやきもの ～歴史と今～	愛知県のやきものづくりには、千年以上の長い歴史があります。陶磁美術館の常設展示「もっと伝えたい！愛知のやきもの」では、瀬戸焼や常滑焼をはじめとする愛知のやきもの「歴史」と「今」を紹介しています。本講座はこの展示の出張版として、実物教材「携帯型学習キット」等を鑑賞しながら、愛知のやきもの歴史と今を学習します。	愛知県陶磁美術館 学芸課・学芸グループ TEL: 0561-84-7474(内線360) FAX: 0561-84-4932 touji@pref.aichi.lg.jp
文化・生活・交流	3-18	モリコロパークを知らう！ ～愛・地球博の跡地は今、どうなってん の？～	愛・地球博長久手会場の跡地は、愛・地球博記念公園(愛称:モリコロパーク)として平成18年7月に部分開園した後も、順次整備が完了したところを追加開園し、魅力的な施設が増えております。また、公園では、スケートショーやコンサート、記念イベントなどいろいろな催事を開催したり、森づくりや公園計画づくりのための市民協働のワークショップも行われております。そんなモリコロパークの魅力を御紹介します。	公園緑地課 企画・都市緑化グループ TEL: 052-954-6526 FAX: 052-953-5329 koen@pref.aichi.lg.jp
文化・生活・交流	3-19	文化財の保存と活用 ～文化財はみんなの財産です～	東西文化の接点である愛知県には貴重な文化財が多くあります。文化財は人々の生活の中で、守り、はぐくまれてきた「愛知のこころ」ともいえるものです。県内で行われている文化財の保存と活用についての様々な取組を中心に御説明し、参加者の皆様方と文化財を後世に伝えていくにはどうしたら良いかを考えます。	生涯学習課 文化財保護室 保護・普及グループ TEL: 052-954-6783 FAX: 052-954-6962 syogaigakushu@pref.aichi.lg.jp
まちづくり	4-1	三河山間地域の活性化について	愛知県では、人口減少や高齢化など厳しい状況にある三河山間地域を活性化するため、「あいち山村振興ビジョン2020」(平成28年2月策定)に基づき、生活環境の充実、交流居住の促進、観光の振興など、様々な事業に取り組んでいます。本講座では、「あいち山村振興ビジョン2020」の内容と、県が実施しているさまざまな三河山間地域の活性化事業について御説明します。	地域政策課 山村振興室 山村・過疎グループ TEL: 052-954-6097 FAX: 052-954-6906 sanson@pref.aichi.lg.jp

平成29年度「県政お届け講座」テーマ一覧

※ テーマ名のリンクを押すと申込のための電子申請システム画面に移行します。

分類	テーマ番号	テーマ名	内容	連絡先
まちづくり	4-4	あいちの都市計画	都市計画は、県民の皆さんが「安全で、住みやすく、働きやすい都市」を目指して定めるまちづくりの計画です。都市の土地利用や道路・公園・下水道などの都市施設、市街地を面的に整備する市街地開発事業に関する計画を一体的に定めています。こうした都市計画の仕組みや取組について御説明します。	都市計画課 企画・調査グループ TEL:052-954-6516 FAX:052-954-6942 toshi@pref.aichi.lg.jp
まちづくり	4-8	都市公園を楽しもう！ ～あいちの都市公園～	都市の緑は、市民活動や憩いの場を形成し、豊かな地域づくりに資するなど、多くの恩恵を私達に与えてくれます。これら緑が持つ多様な機能を保ち、緑あふれる快適な暮らしを創出する役割を都市公園は担っています。県内の都市公園について、県営都市公園を中心に分かりやすく説明します。	公園緑地課 企画・都市緑化グループ TEL:052-954-6526 FAX:052-953-5329 koen@pref.aichi.lg.jp
まちづくり	4-9	循環型社会を支える下水道	下水道は生活環境の改善、川や海の水質保全、雨水浸水対策等の様々な役割を担っています。また、下水汚泥の有効利用等、循環型社会づくりに貢献しています。ここでは、下水道の仕組みと役割、下水汚泥の有効利用、下水道と地球温暖化対策などについて御説明します。	下水道課 企画調査グループ TEL:052-954-6531 FAX:052-972-6416 gesuido@pref.aichi.lg.jp
まちづくり	4-11	あいちの道づくり	道路は、通勤・通学や買い物、旅行など家の周りの路地から高速道路に至るまで、私たちの生活には、なくてはならない公共の施設です。 愛知県にはどんな道路があるのか、これまで整備された道路が、どのような効果を生んでいるのか、また、今、道路にはどんな課題があり、どのように解決しようとしているのかについて、事例を交えながら御説明します。	道路建設課 企画・環境対策グループ TEL:052-954-6541 FAX:052-972-6417 dourokensetsu@pref.aichi.lg.jp
まちづくり	4-12	あいちの河川と海岸	愛知県の河川と海岸についての様々な情報を提供します。河川・海岸の整備、整備の計画、総合治水対策、減災対策、多自然川づくり等、防災面、環境面での河川・海岸の持つ様々な役割などについて御説明します。	河川課 企画グループ TEL:052-954-6553 FAX:052-953-1457 kasen@pref.aichi.lg.jp
まちづくり	4-13	あいちの港湾 ～みんなの生活を支えるみなと～	愛知県には、貨物量、貿易額日本一の名古屋港を始め、衣浦港、三河港といった港湾があります。日常生活ではなかなか関わりにくい港湾について、整備の重要性をお伝えします。 また、津波、高潮といった災害に対する備え、良好な海域環境の保全に対する取組を御紹介します。	港湾課 業務・調整グループ TEL:052-954-6562 FAX:052-953-1793 kowan@pref.aichi.lg.jp
まちづくり	4-14	あいちの住まい・まちづくり	愛知県では、県内の住まい・まちづくり施策を総合的・計画的に進めるための基本計画として「愛知県住生活基本計画2025」を平成29年3月に策定しました。計画で示した基本的な方針「『安全・安心』に暮らす」、「住まいを『未来』へつなぐ」、「あいちの『魅力』を高める」に基づく県の取組を御紹介します。	住宅計画課 企画グループ TEL:052-954-6567 FAX:052-961-8145 jutakukeikaku@pref.aichi.lg.jp
まちづくり	4-16	公営住宅制度について	愛知県内には、住宅に困窮する低額所得者を対象に低廉な家賃で住まいを提供する公営住宅があり、県や市町村により建設されています。これらの公営住宅の状況や入居資格などの制度の概要について御説明します。	公営住宅課 計画・指導グループ TEL:052-954-6573 FAX:052-951-3421 koeijutaku@pref.aichi.lg.jp
まちづくり	4-17	あいちの建築行政 ～建築についてのさまざまな法律～	愛知県の建築行政についての様々な情報を提供します。 建築基準法、建築士法、宅地造成等規制法、都市計画法に基づく開発許可、などについて御説明します。	建築指導課 業務・管理グループ TEL:052-954-6585 FAX:052-951-0840 kenchikushido@pref.aichi.lg.jp
健康・医療	5-1	愛知県地域保健医療計画について	医療計画は、医療法に基づき、地域の実情に応じて、当該都道府県における医療提供体制の確保を目的に策定するものです。 医療計画に記載している、5疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患)、5事業(救急医療、災害医療、へき地医療、周産期医療、小児医療)及び在宅医療の医療連携体制等について、御説明します。	医療福祉計画課 医療計画グループ TEL:052-954-6265 FAX:052-953-6367 iryofukushi@pref.aichi.lg.jp

平成29年度「県政お届け講座」テーマ一覧

※ テーマ名のリンクを押すと申込のための電子申請システム画面に移行します。

分類	テーマ番号	テーマ名	内容	連絡先
健康・医療	5-2	愛知県地域医療構想について	急速に少子高齢化が進行する中、平成37年(2025年)にはいわゆる団塊の世代の方々が75歳以上となり、医療や介護を必要とする高齢者が大幅に増加し、医療ニーズ及び慢性的な疾病や複数の疾病を抱える患者の増加による疾病構造の変化が見込まれています。 こうした状況を見据え、地域にふさわしいバランスのとれた病床の機能の分化と連携を進め、効率的で質の高い医療提供体制を構築するため、平成28年10月に医療法に基づき策定された「愛知県地域医療構想」について、御説明します。	医療福祉計画課 医療計画グループ TEL:052-954-6265 FAX:052-953-6367 iryofukushi@pref.aichi.lg.jp
健康・医療	5-3	みんなの健康まもり隊 ～保健師の仕事～	保健師は、地域で生活している赤ちゃんからお年寄りまであらゆる年齢層の方が健康な生活を送れるように、健康状態や生活状況を聞きながらアドバイスをしています。 保健所・市町村保健センターを中心に活躍している保健師の日ごろの業務内容について、分かりやすく御説明します。	医療福祉計画課 地域保健グループ TEL:052-954-6267 FAX:052-953-6367 iryofukushi@pref.aichi.lg.jp
健康・医療	5-4	地域包括ケアシステムの構築 ～地域で安心して暮らし続けるために～	急速に高齢化が進行する中、高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくためには、医療・介護・予防・生活支援・住まいを切れ目なく一体的に提供する「地域包括ケアシステム」を構築することが急務とされています。 愛知県の地域包括ケアシステム構築に向けた取組として、「あいちの地域包括ケアを考える懇談会」による検討や、モデル事業の実施等について、分かりやすく御説明します。	医療福祉計画課 地域包括ケア推進室 地域包括ケアグループ TEL:052-954-6228 FAX:052-953-6367 chiikihoukatu@pref.aichi.lg.jp
健康・医療	5-5	ひきこもりについて、みんなで考え隊 ～ひきこもり支援～	ひきこもりは、何らかの事情によって人とつながること、社会とつながることが困難になっている状態です。社会に生きづらさを抱え、ひきこもり状態にある方やその家族への支援施策について御説明します。	障害福祉課 こころの健康推進室 こころの健康推進グループ TEL:052-954-6621 FAX:052-954-6920 kokoro@pref.aichi.lg.jp
健康・医療	5-6	自殺をみんなで防ぎ隊 ～自殺問題～	自殺は、個人の自由な意思や選択の結果ではなく、様々な悩みにより心理的に「追い込まれた末の死」であるということをご存じですか。 自殺に対する誤解や偏見をなくし、自殺を防止するための愛知県の取組について、御説明します。	障害福祉課 こころの健康推進室 こころの健康推進グループ TEL:052-954-6621 FAX:052-954-6920 kokoro@pref.aichi.lg.jp
健康・医療	5-7	アルコール健康障害対策について ～アルコール健康障害～	アルコール依存症は本人の意志や性格の問題ではなく、お酒の量をコントロールできなくなる脳の病気であるということをご存じですか。アルコール依存症の正しい知識と本県のアルコール健康障害に対する取組について御説明します。	障害福祉課 こころの健康推進室 こころの健康推進グループ TEL:052-954-6621 FAX:052-954-6920 kokoro@pref.aichi.lg.jp
健康・医療	5-8	「健康日本21あいち新計画」お知らせし隊 ～健康づくりについて～	愛知県では、健康長寿あいちの実現(健康寿命の延伸と健康格差の縮小)を目指し「健康日本21あいち新計画」に基づき、県民の健康づくりを推進しておりますが、健康寿命の延伸による健康長寿あいちの実現に向け、あいち健康マイレージ事業など、様々な取組についてPRしながら御説明いたします。	健康対策課 健康づくりグループ TEL:052-954-6269 FAX:052-954-6917 kenkotaisaku@pref.aichi.lg.jp
健康・医療	5-9	あいち健康プラザへ行き隊 ～楽しい健康づくり～	あいち健康プラザは、運動施設、宿泊施設などを有する県民の健康づくりを総合的に推進する拠点施設です。あいち健康プラザが持つ様々な機能を紹介するとともに、楽しく健康づくりへ歩み出すきっかけとしてあいち健康プラザを上手に活用する方法を御説明いたします。	健康対策課 健康プラザグループ TEL:052-954-6870 FAX:052-954-6917 kenkotaisaku@pref.aichi.lg.jp
健康・医療	5-10	「歯科口腔保健基本計画」お知らせし隊 ～歯と口の健康づくり～	愛知県では、歯と口の健康づくりを通じて、8020の達成など健康で質の高い生活の実現を目指しています。乳幼児期から高齢期まで生涯にわたる歯科口腔保健の取組についてPRし御説明いたします。	健康対策課 歯科・栄養グループ TEL:052-954-6271 FAX:052-954-6917 kenkotaisaku@pref.aichi.lg.jp
健康・医療	5-11	肝炎をみんなで正しく理解しましょう	B型・C型肝炎の持続感染者は、全国で300万人以上と推定されています。自覚症状がないことから感染に気づかない人もおり、放置しておくと肝炎から肝硬変・肝がんへと重症化する疾病ですが、早期発見し適切に治療すれば治癒する可能性も高くなっています。 この講座では、肝炎の正しい知識と県の肝炎対策について御説明いたします。	健康対策課 結核・肝炎グループ TEL:052-954-6626 FAX:052-954-6917 kenkotaisaku@pref.aichi.lg.jp ※名古屋市及び中核市(豊橋市、岡崎市、豊田市)は対象外となります。各市(区)の保健所へお問合せください。

平成29年度「県政お届け講座」テーマ一覧

※ テーマ名のリンクを押すと申込のための電子申請システム画面に移行します。

分類	テーマ番号	テーマ名	内容	連絡先
健康・医療	5-13	冬の感染症について知らせ隊 ～感染性胃腸炎・インフルエンザ対策を 中心に～	感染性胃腸炎や季節性インフルエンザ等の感染症の流行状況や、うつらない・うつさないための感染予防対策について御説明します。	健康対策課 感染症グループ TEL:052-954-6272 FAX:052-954-6917 kenkotaisaku@pref.aichi.lg.jp
健康・医療	5-15	手洗いの大切さ知ってもらい隊 ～食の安全性の確保について～	《体験あり》 食中毒の予防に大切な手洗いの方法について、御説明します。 ブラックライトに反応するローション(仮想の汚れ)を塗って、手を洗い、ブラックライトに当てて光る部分(洗い残し部分)があるかチェックする等、実際に手洗いをしながら正しい手洗い方法について御説明します。	生活衛生課 食の安全・安心グループ TEL:052-954-6297 FAX:052-954-6921 eisei@pref.aichi.lg.jp
健康・医療	5-16	お薬との上手な付き合い方を教え隊 ～薬の話～	超高齢化社会を迎えている中、自分の健康は自分で守るという「セルフメディケーション」が重視されており、それには大衆薬が大いに役立ちます。 また、医療機関や薬局では、いわゆるジェネリック医薬品の使用も増えてきています。 これらのお薬と上手に付き合っ、健やかな生活を送るため、正しい知識を身につけましょう。	医薬安全課 薬事グループ TEL:052-954-6303 FAX:052-953-7149 iyaku@pref.aichi.lg.jp
安全情報	6-1	今すぐできる！身近な防犯対策	愛知県は、現在、住宅へのドロボウ被害が10年連続全国ワースト1位です。ドロボウの被害は窓からの侵入が6割を超えており、防犯対策の薄い、入りやすい家を狙います。ドロボウの被害に遭わないために、家の防犯対策を見直しませんか。すぐに始められる身近な防犯対策を御紹介します。その他、自動車盗難やひったくり等の犯罪の対策についても御説明します。	地域安全課 安全なまちづくりグループ TEL:052-954-6176 FAX:052-954-6910 chiikianzen@pref.aichi.lg.jp
安全情報	6-2	特殊詐欺対策講座	愛知県では、振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺が激増しています。平成28年の被害額は3年連続で30億円を超えました。自分は騙されないと考えていても、犯人は言葉巧みに皆さんの心につけこみます。被害に遭わないよう、実際の手法や対策について御説明します。	地域安全課 安全なまちづくりグループ TEL:052-954-6176 FAX:052-954-6910 chiikianzen@pref.aichi.lg.jp
安全情報	6-3	ストップ・ザ 交通事故	交通事故に遭わないためには、どんなことに気をつければよいのでしょうか。交通事故に関する様々なデータを交え、「高齢者の交通事故」「交差点事故」を中心に、身近なところに潜む危険性と、交通事故の回避方法を御説明するとともに、交通事故死者数減少へ向けた愛知県の取組について御紹介します。	地域安全課 交通安全グループ TEL:052-954-6177 FAX:052-954-6910 chiikianzen@pref.aichi.lg.jp
安全情報	6-4	交差点事故防止出張講座 ～歩行環境シミュレータを体験してみませんか～	《体験あり》 【対象】15人から30人程度の市町村や学校、老人クラブ、子ども会などが主催する交通安全教室及び企業・団体の交通安全研修など 【実施日】土、日、祝日を除く平日のみ 交差点の危険性を理解し、道路の安全な横断の方法を身に付けていただくため、参加体験型の交差点事故防止出張講座を実施します。 講座では、愛知県内の交差点事故の特徴に関する簡単な説明のほか、より現実に近い交差点の環境を疑似体験することができる「歩行環境シミュレータ(わたりジョーズ君)」によるリアルな交差点横断の体験を通して、安全な道路横断方法について学んでいただけます。	地域安全課 交通安全グループ TEL:052-954-6177 FAX:052-954-6910 chiikianzen@pref.aichi.lg.jp
安全情報	6-5	自転車安全利用出張講座 ～自転車シミュレータを体験してみませんか～	《体験あり》 【対象】15人から30人程度の市町村や学校、老人クラブ、子ども会などが主催する交通安全教室及び企業・団体の交通安全研修など 【実施日】土、日、祝日を除く平日のみ 自転車の正しい利用ルールと安全な通行方法を学んでいただくため、参加体験型の自転車安全利用出張講座を実施します。講座では、自転車走行を疑似体験できる「自転車シミュレータ」を活用し、その体験結果の解説を通じて、自転車の安全な利用方法を身に付けていただけます。	地域安全課 交通安全グループ TEL:052-954-6177 FAX:052-954-6910 chiikianzen@pref.aichi.lg.jp

平成29年度「県政お届け講座」テーマ一覧

※ テーマ名のリンクを押すと申込のための電子申請システム画面に移行します。

分類	テーマ番号	テーマ名	内容	連絡先
安全情報	6-6	愛知県の地震防災対策について ～地震被害予測調査結果と第3次あいち 地震対策アクションプラン等について～	南海トラフ地震等の発生が危惧されるなか、平成26年5月に公表した地震被害予測調査結果や愛知県地震防災対策の行動計画である「第3次あいち地震対策アクションプラン」について御説明します。	防災危機管理課 政策・企画グループ TEL:052-954-6191 FAX:052-954-6911 bosai@pref.aichi.lg.jp
安全情報	6-7	防災・減災お役立ちガイド ～個人や家庭でできる災害への備えにつ いて～	南海トラフ地震の発生が危惧され、また台風や集中豪雨による被害も大きくなっている中、防災・減災に対する意識を高めていただくため、地震や風水害の基礎知識を始め、家具の固定や食料の備蓄などの個人や家庭でできる災害への備えや地域における防災活動などについて御説明します。	防災危機管理課 啓発グループ TEL:052-954-6190 FAX:052-954-6911 bosai@pref.aichi.lg.jp
安全情報	6-8	国民保護って何？	国民保護とは、国民保護法に基づき、外国からの武力攻撃や大規模テロ等から国民の生命、身体及び財産を保護することをいい、万が一、こうした事態が発生した場合、国民保護措置を迅速・的確に行うため、本県では愛知県国民保護計画を作成しています。この講座では、計画の概要を始め、国民保護のしくみと役割を御説明します。	防災危機管理課 危機管理・国民保護グループ TEL:052-954-6143 FAX:052-954-6911 bosai@pref.aichi.lg.jp
安全情報	6-12	安心して食べていただき隊 ～食の安全性の確保について～	食中毒の予防、食品添加物・アレルギー物質、食品表示(衛生に関する部分)など、県民の皆様に身近な食の安全に関する話題や、「あいち食の安全・安心推進アクションプラン」に基づいた食の安全・安心確保のための県の取組等について御説明します。	生活衛生課 食の安全・安心グループ TEL:052-954-6297 FAX:052-954-6921 eisei@pref.aichi.lg.jp
安全情報	6-13	食品の産地表示について	普段身近に接している食品の産地表示に関して、食品表示法や米トレーサビリティ法の表示のルールを御説明します。	食育消費流通課 市場・食品表示グループ TEL:052-954-6421 FAX:052-954-6940 shokuiku@pref.aichi.lg.jp
安全情報	6-14	土砂災害から身を守る	土砂災害は、主に降雨によって起こりますが、その危険が迫っていることは目で見てはわかりにくいので、突発的に被害が発生する怖い災害です。土砂災害がどんな災害であるかを知っていただくとともに、砂防えん堤(砂防ダム)などの施設整備のほか、土砂災害防止法や土砂災害警戒情報などの警戒避難体制についての新しい取組を通して、土砂災害から身を守るためにはどんなことが必要であるかを御説明します。	砂防課 企画・防災グループ TEL:052-954-6560 FAX:052-972-6418 sabo@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-1	「食と緑の基本計画2020」について ～食と緑が支える豊かな「あいち」をめざ して～	平成28年3月に策定した「食と緑の基本計画2020」について御説明し、皆さんと協働して取り組む内容について意見交換を行います。	農林政策課 企画グループ TEL:052-954-6395 FAX:052-954-6928 nourin@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-2	「地産地消」のすすめ ～「いいともあいち運動」を知っています か～	「いいともあいち運動」は消費者と生産者が「いい友達」関係を築き、もっと愛知県産品を食べよう、利用しようという運動です。ここでは、健康な食生活を送り、環境にも優しい「地産地消」の大切さと「いいともあいち運動」について御説明します。	食育消費流通課 需要拡大・ブランド力強化グループ TEL:052-954-6434 FAX:052-954-6940 shokuiku@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-4	あいちの茶について	愛知県の茶生産は西三河地域から東三河地域にかけて、沿岸から山間地へと広がっており、それぞれの地域において地形・気候の特徴を活かした栽培が行われています。そこで、都道府県別では全国第2位の生産量を誇るてん茶(抹茶の原料)や、普通せん茶、深蒸しせん茶、かぶせ茶、有機栽培茶、紅茶など県内で生産されている多種多様なあいちの茶の特徴等について御説明します。	園芸農産課 特用作物グループ TEL:052-954-6416 FAX:052-954-6932 engei@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-5	愛知のお米について	お米は、日本人の主食であり、最も重要な農作物の1つです。そのため、生産者の皆さんが安定して栽培でき、消費者の皆さんが安心して食べていただけるように、法律や各種制度が存在しています。また、お米は愛知県の農産物の中で最も産出額が高い品目です。そこで、愛知県のお米の栽培状況や各種制度に関する県の取組について御紹介します。	園芸農産課 稲・麦・大豆グループ TEL:052-954-6420 FAX:052-954-6932 engei@pref.aichi.lg.jp

平成29年度「県政お届け講座」テーマ一覧

※ テーマ名のリンクを押すと申込のための電子申請システム画面に移行します。

分類	テーマ番号	テーマ名	内容	連絡先
農林水産	7-6	あいちの小麦「きぬあかり」について	「きぬあかり」は、愛知県が育成した小麦の品種で、平成24年産から本格的な栽培が始まりました。色が明るく、なめらかで、コシのあるうどんができ、収量は今までの主要品種より極めて高いことから、県内作付の8割を占めるまで拡大しています。そこで、「きぬあかり」の特性や普及状況について御紹介します。	園芸農産課 稲・麦・大豆グループ TEL: 052-954-6420 FAX: 052-954-6932 engei@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-7	あいちの果物の話	愛知県では、みかんや、かき、ぶどう、いちじくなど多種類の果物が栽培され、一年を通して様々な果物を食べることができます。こうしたあいちの果物の魅力や、それを支える取組、さらにはあいちの果物に関するイベント等を御紹介します。	園芸農産課 野菜・果樹グループ TEL: 052-954-6418 FAX: 052-954-6932 engei@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-8	あいちの伝統野菜って何！！	愛知県では、①今から50年前には栽培されていたもの、②地名、人名など愛知県に由来しているもの、③今でも種や苗があるもの、④種や生産物が手に入るものを条件にあいちの伝統野菜を選定しました。現在、21品種35品目が選定されています。あいちの伝統野菜をはじめ、愛知で作られる野菜を身近に感じていただきたいと思います。	園芸農産課 野菜・果樹グループ TEL: 052-954-6418 FAX: 052-954-6932 engei@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-9	愛知の花は日本一！	愛知県は日本一の花き生産を誇るとともに、生産から消費までの花き関係者が消費拡大に向けた様々な取組を行っています。キク、バラ、観葉植物、洋らんを始めとした花き生産の現状や最新の生産技術の概要、花きイベントや「花いっぱい県民運動」の推進などの取組について御紹介します。	園芸農産課 花きグループ TEL: 052-954-6419 FAX: 052-954-6932 engei@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-10	国産飼料の活用について	家畜の飼料となるトウモロコシなどの穀物や乾草の多くは、外国から輸入されています。その一方で、飼料の自給率を高めるため、飼料用稲や食品の加工残さなどの国産飼料の活用が進められています。こうした国産飼料の生産や利用の取組について御説明します。	畜産課 畜政環境・飼料グループ TEL: 052-954-6425 FAX: 052-954-6934 chikusan@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-11	資源としての家畜ふん尿	家畜のふん尿は、多くの肥料成分を含むことから、たい肥として畑や水田の土づくりに有効利用されています。また、最近では電力や熱としてエネルギー利用を図ろうとする動きもあります。こうした家畜ふん尿による資源循環・リサイクルの取組を御説明します。	畜産課 畜政環境・飼料グループ TEL: 052-954-6425 FAX: 052-954-6934 chikusan@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-13	系統豚を利用した豚肉の生産	愛知県では全国で唯一豚肉生産の素豚となる3品種の系統豚を所有し、県下の生産者に譲渡しています。これら系統豚の組み合わせでできる豚肉(三元豚)がおいしい豚肉として食卓に提供されています。ここでは、愛知県の系統豚(愛称「愛とん」)や、豚生産の話を図表、写真等使って分かりやすく御説明します。	畜産総合センター 種畜部養豚課 養豚グループ TEL: 0564-21-0201(内線25) FAX: 0564-22-1857 chikusan-c@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-15	地鶏の王様 名古屋コーチン ～名古屋コーチンの改良の歴史と特徴～	明治より養鶏王国愛知を牽引した名古屋コーチンですが、昭和30年代後半になると外国鶏に押されて衰退します。昔ながらの「かしわ」の味を求める消費者の声に応え、愛知県は名古屋コーチンの改良と復活に着手、本県の特産品として民間へのヒナの供給を行っています。この名古屋コーチンの歴史と特徴について、解説します。	畜産総合センター種鶏場 種鶏課 種鶏グループ TEL: 0566-76-3369 FAX: 0566-76-4851 syukeijo@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-17	水産技術研究の現状 ～水産試験場の取組～	水産業は生物多様性の上に成り立っています。水産試験場では干潟・藻場の保全、再生研究を始め、イカナゴ、トラフグ、アサリなど水産資源の持続的利用の研究、高品質で安全なノリ、ウナギ、キンギョ、マスなどの養殖技術の開発などの試験研究を行っています。試験研究の概要について御紹介します。	水産試験場 企画情報部企画普及グループ TEL: 0533-68-5198 FAX: 0533-67-2664 suisanshiken@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-18	農地・水・環境を守ろう！ ～農村環境の持つはたらきと未来につなぐ地域の取組～	農地や農業用水などは食料を生産するだけでなく、多様な生物の生息、県土の保全、景観形成など様々な機能を有しています。この農地や農業用水路などを地域ぐるみで守る活動を支援する「多面的機能支払交付金」の仕組みと代表的な取組を御紹介します。	農地計画課 企画・調査グループ TEL: 052-954-6429 FAX: 052-954-6935 nochi-keikaku@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-19	水土里のオアシス ため池 ～その秘密に迫る～	農業用水を供給することを目的に造られたため池は、多様な生物の棲処、地域住民の憩いの場、洪水の緩和など、様々な恵みを地域に提供しています。こうした、農業用ため池の役割と共に、地域の財産であるため池を保全するために実施されている池干しなども御紹介します。	農地計画課 排水対策グループ TEL: 052-954-6432 FAX: 052-954-6935 nochi-keikaku@pref.aichi.lg.jp

平成29年度「県政お届け講座」テーマ一覧

※ テーマ名のリンクを押すと申込のための電子申請システム画面に移行します。

分類	テーマ番号	テーマ名	内容	連絡先
農林水産	7-20	実りある大地と暮らしを取り戻すために	東日本大震災の被災地域は、日本有数の穀倉地帯であり、農業を生業(なりわい)とする人も多く、復興にあたっては、生活基盤である農地等の復旧が重要です。本県では、被災直後から職員を派遣し、現地の復興支援にあたっています。この講座では、農業・農村・農家を中心に、被災直後の状況や復旧、復興対策への取組や、人々の営みを御報告します。	農地計画課 排水対策グループ TEL:052-954-6432 FAX:052-954-6935 nochi-keikaku@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-21	大地を潤す農業用水 ～大規模農業用水の歴史～	愛知県では木曾川、矢作川、豊川などの豊かな水を利用して、古くから多くの農業用水が開削されてきました。明治用水、愛知用水、豊川用水など連続と続く農業用水の開発は、農業のみならず「ものづくり日本一」の愛知県の発展の礎となっています。こうした農業用水の歴史や重要性を御説明します。	農地計画課 計画グループ TEL:052-954-6431 FAX:052-954-6935 nochi-keikaku@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-22	農村の環境整備	ため池や水路などの農業水利施設は、水に親しめる身近な場所であるとともに、多様な生物が生息するビオトープでもあります。愛知県では、生態系や景観に配慮し、安らぎと潤いのある親水空間を持った農業水利施設の整備を行っています。これらの取組について分かりやすく御説明します。	農地整備課 環境整備・単県グループ TEL:052-954-6439 FAX:052-972-7916 nochi-seibi@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-23	食料等の生産基盤の整備	農産物を安定して供給するためには、生産性を向上させる必要があります。愛知県では、農作物の輸送・作業機械の移動に使う農道、農業用水をほ場へ送る用水路や余分な雨水を流す排水路などの整備を行っています。これらの取組について分かりやすく御説明します。	農地整備課 生産基盤・団体営グループ TEL:052-954-6438 FAX:052-972-7916 nochi-seibi@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-24	農村地域の自然災害の防止	大規模地震や豪雨による洪水の被害が心配されています。愛知県では、自然災害から地域を守るため、ため池や排水路、排水機場などの整備を行っています。これらの取組について分かりやすく御説明します。	農地整備課 防災グループ TEL:052-954-6440 FAX:052-972-7916 nochi-seibi@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-27	海上の森の保全と活用の取組	《体験あり》 あいち海上の森センターが、①海上の森を愛知万博記念の森として保全していること、②海上の森を森林や里山に関する学習と交流の場として活用していることや、取組について、分かりやすく御説明し、意見交換も行います。	あいち海上の森センター 保全・活用グループ TEL:0561-86-0606 FAX:0561-85-1841 kaisho@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-28	最新の農業技術研究の現状	皆さんは農業に対してどのようなイメージを持っていますか。豊かな田園風景が心を和ませるのも農業の重要な役割ですが、最も進んだ科学技術が活用されているのが現在の農業の姿です。農業総合試験場の最近の研究成果を例に最新の農業技術を御紹介します。	農業総合試験場 企画普及部・企画調整室 TEL:0561-62-0085(内線321) FAX:0561-63-0815 nososi@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-29	食生活を支える農業技術 ～農業総合試験場での研究開発～	農業総合試験場では、稲を始め野菜や果実、豚、鶏などの新しい品種を開発しています。また、これらの栽培方法や飼育方法の改善に関する研究も行っています。農業総合試験場での技術開発を例に農産物がどのように生産され、消費者の手元まで届いているのかについて分かりやすく御説明します。	農業総合試験場 企画普及部・企画調整室 TEL:0561-62-0085(内線321) FAX:0561-63-0815 nososi@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-32	あいちの花 ～長く楽しめる花の開発～	農業総合試験場では、消費者のニーズに応える花の品種開発を行っています。なかでも、平成27年に開発したカーネーション「カーネ愛農1号」は、日持ち性が極めて良く、一般的なカーネーションの3倍程度の期間観賞できる品種です。その開発の経過と特長について、分かりやすく御説明します。	農業総合試験場 企画普及部・企画調整室 TEL:0561-62-0085(内線321) FAX:0561-63-0815 nososi@pref.aichi.lg.jp
環境	8-1	「エコ モビリティ ライフ」のすすめ ～はじめよう 環境にやさしい交通行動～	「エコ モビリティ ライフ」とは、環境(エコロジー)の「エコ」、移動の「モビリティ」、生活の「ライフ」をつなげたことばで、クルマと電車、バスなどの公共交通、自転車、徒歩などをかきこく使い分けるライフスタイルです。「エコ モビリティ ライフ」の実践は、地球温暖化や交通事故・交通渋滞などの解決や、安全で健康的な県民生活の実現につながります。本講座では、「エコ モビリティ ライフ」の普及・定着に向けた取組や実践についてお話しします。	交通対策課 エコモビリティライフ推進グループ TEL:052-954-6125 FAX:052-961-3248 kotsu@pref.aichi.lg.jp

平成29年度「県政お届け講座」テーマ一覧

※ テーマ名のリンクを押すと申込のための電子申請システム画面に移行します。

分類	テーマ番号	テーマ名	内容	連絡先
環境	8-2	愛知県環境白書について ～愛知県の環境の状況～	愛知県の環境の状況及び環境保全の施策に関する年次報告として、毎年、12月に環境白書を発行しています。環境白書には、身近な生活環境に関することから地球環境に関することまで幅広い分野を取り上げていますが、この講座では、その概要について御説明します。	環境政策課 企画・広報グループ TEL:052-954-6210 FAX:052-954-6914 kankyo@pref.aichi.lg.jp
環境	8-3	愛知県環境基本計画について	愛知県では、環境の保全に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図ることを目的として「愛知県環境基本計画」を策定しています。 この講座では、この計画の概要について御説明します。	環境政策課 企画・広報グループ TEL:052-954-6210 FAX:052-954-6914 kankyo@pref.aichi.lg.jp
環境	8-4	グリーン購入について ～地球にやさしいお買物、グリーン購入を 始めてみませんか？～	愛知県では、環境にやさしい商品を優先的に購入する、グリーン購入の取組を推進しています。この講座では、グリーン購入とは何か、どんな商品が地球に優しいのかを御説明します。	環境活動推進課 調整・環境配慮行動グループ TEL:052-954-6241 FAX:052-954-6914 kankyokatsudo@pref.aichi.lg.jp
環境	8-6	化学物質対策について	身の回りの化学物質は生活を豊かで便利にしてくれる一方、使い方を誤ると健康や環境に悪影響を及ぼすおそれ(リスク)があります。 この講座では、化学物質の排出量を把握するPRTR制度を中心に、化学物質の「リスク」というものを理解しながら、その対策や取組について御説明します。	環境活動推進課 環境リスク対策グループ TEL:052-954-6212 FAX:052-954-6914 kankyokatsudo@pref.aichi.lg.jp
環境	8-7	環境放射能について ～愛知県内の状況等～	愛知県ではモニタリングポストにより県内5ヶ所で大気環境中の放射線量を24時間測定しています。この講座では、放射線の基礎知識や県内の環境放射能の状況等について御説明します。	環境活動推進課 環境リスク対策グループ TEL:052-954-6212 FAX:052-954-6914 kankyokatsudo@pref.aichi.lg.jp
環境	8-8	大気汚染の現状	愛知県の大気汚染はどの程度なのでしょう。PM2.5や光化学オキシダントの基礎知識や濃度が高くなった時の対応などを交えながら、今の愛知県の大気状況についてお話します。	大気環境課 調査・監視グループ TEL:052-954-6216 FAX:052-953-5716 taiki@pref.aichi.lg.jp
環境	8-9	地球温暖化と私たちの暮らし	地球温暖化を防ぐために私達はどうしたらよいのでしょうか。温暖化の原因となる二酸化炭素は私たちの生活のあらゆるところから発生しています。二酸化炭素の排出を一気に減らすことは困難ですが、できることから始めることが大切です。 この講座では、地球温暖化の現状、対策や生活の中で気をつけることなどをお話します。	大気環境課 地球温暖化対策室 温暖化対策グループ TEL:052-954-6242 FAX:052-955-2029 ondanka@pref.aichi.lg.jp
環境	8-10	愛知の水環境を支える浄化槽	愛知県の海に流れ込む汚れのうち約半分は家庭からの生活排水によるものです。愛知県は全国有数の浄化槽設置県です。浄化槽は汚水の浄化に大きな役割を果たしています。 この講座では、浄化槽を上手に動かせるためのお話をいたします。	水地盤環境課 調整・生活排水グループ TEL:052-954-6219 FAX:052-961-4025 mizu@pref.aichi.lg.jp
環境	8-11	生活排水について考えよう！	愛知県の海に流れ込む汚れのうち約半分は家庭からの生活排水によるものであり、川や海の汚れと私たちの生活とは密接な関係があります。 この講座では、生活排水の汚れ具合を実験などで確認し、川や海を汚さないために私たちができることを一緒に考えましょう。	水地盤環境課 調整・生活排水グループ TEL:052-954-6219 FAX:052-961-4025 mizu@pref.aichi.lg.jp
環境	8-12	油ヶ淵の水質浄化の取組	愛知県唯一の天然湖沼「油ヶ淵」は、周辺の都市化の進展や閉鎖性水域であることなどから、全国的に見ても水質の良くない湖沼の一つです。現在、行政や市民の皆様が油ヶ淵の水質浄化に向けて様々な取組を行っています。 この講座では、油ヶ淵の現状や、油ヶ淵で行われている水質浄化対策、取組などについてお話します。	水地盤環境課 調整・生活排水グループ TEL:052-954-6219 FAX:052-961-4025 mizu@pref.aichi.lg.jp ※建設部河川課と連携して講座を行います。

平成29年度「県政お届け講座」テーマ一覧

※ テーマ名のリンクを押すと申込のための電子申請システム画面に移行します。

分類	テーマ番号	テーマ名	内容	連絡先
環境	8-13	三河湾の現状と環境再生に向けた取組について	三河湾は、知多半島と渥美半島に囲まれた海で、古くから豊かな海の恵みをもたらしてくれる「里海」です。しかし、戦後の経済発展に伴って水質汚濁や赤潮、苦潮の発生など環境の悪化が生じています。この講座では、三河湾の現状や課題、三河湾環境再生プロジェクトなどの環境再生に向けた様々な取組について御説明します。	水地盤環境課 三河湾環境再生グループ TEL:052-954-6220 FAX:052-961-4025 mizu@pref.aichi.lg.jp
環境	8-14	愛知県における外来種(移入種)問題について	県内には、山、川、平野、海と豊かな自然があり、地域にあった様々な生きものが暮らしています。しかし、人の手によって持ち込まれる外来種(移入種)によって、地域の生態系がおびやかされています。この講座では、こういった外来種による問題について、現在県内で問題となっている事例や、国や県による対策について紹介するとともに、コイやホタルをむやみに放流することにより地域の生態系にどのような問題があるのかなどについて、皆さんと一緒に考えたいと思います。	自然環境課 野生生物・鳥獣グループ TEL:052-954-6230 FAX:052-963-3526 shizen@pref.aichi.lg.jp
環境	8-15	絶滅のおそれのある愛知県の野生生物について ～「レッドリストあいち2015」～	県内では、約16,000種の動植物種が確認されていますが、そのうち約850種は絶滅のおそれがある種(絶滅危惧種)とされています。この講座では、これらの種をとりまとめ、ランク付けした「レッドリストあいち2015」の概要や、保護の取組について紹介し、身近な野生生物に興味を持っていただく機会にしたいと思います。	自然環境課 野生生物・鳥獣グループ TEL:052-954-6230 FAX:052-963-3526 shizen@pref.aichi.lg.jp
環境	8-16	野生鳥獣の保護と管理について ～愛知県内の状況等～	近年、生物多様性の保全等の環境問題への意識の高まりにともない、野生鳥獣に関心を持つ人が増えています。この講座では、農作物等に被害を与えている鳥獣の保護管理等、本県が取り組んでいる鳥獣保護管理事業について御紹介します。	自然環境課 野生生物・鳥獣グループ TEL:052-954-6230 FAX:052-963-3526 shizen@pref.aichi.lg.jp
環境	8-17	自然環境を守る取組を知ろう! ～緑地が水辺をつなぐ～	★おすすめ★ 平成22年に開催されたCOP10では、世界共通の目標として「愛知目標」が定められました。この講座では、この達成に向けて、里地里山や都市部等において本県が進めている、分断され孤立した自然をつなぎ、生き物が移動・生息できる「生態系ネットワーク形成」に向けた様々な取組について御紹介します。	自然環境課 国際連携・生態系グループ TEL:052-954-6229 FAX:052-963-3526 shizen@pref.aichi.lg.jp
環境	8-18	愛知県廃棄物処理計画について	社会経済活動の拡大の一方で、大量の廃棄物の発生により、様々な廃棄物問題に対する的確な取組が行政の重要課題となっています。この講座では、愛知県廃棄物処理計画(平成29年度～33年度)の概要を始め、県内の廃棄物の全般的状況、県や市町村の取組事例などを紹介し、廃棄物を取り巻く問題について理解を深めていただく機会にしたいと思います。	資源循環推進課 調整・広域処分グループ TEL:052-954-6232 FAX:052-953-7776 junkan@pref.aichi.lg.jp
環境	8-19	循環型社会の形成推進について ～3Rのすすめ～	これまでの、大量生産、大量消費、大量廃棄型社会は、豊かで便利な生活をもたらしましたが、一方では、ごみの排出抑制が進まず最終処分場が逼迫するなど、様々な問題が発生しています。この講座では、家庭ごみなどの一般廃棄物について、3Rの理念に基づき、発生抑制を第一に、その次に再使用、再生利用を推進し、循環型社会の形成推進を図るための施策を、御説明します。	資源循環推進課 一般廃棄物グループ TEL:052-954-6234 FAX:052-953-7776 junkan@pref.aichi.lg.jp
環境	8-20	海岸漂着物等(海ごみ)対策について ～川も海も、ごみ箱じゃない～	県内の26河川を調査した結果、河川ごみの7割以上が生活系のごみであり、その内、多くはペットボトル、食品容器・包装類、ごみ袋などのプラスチック類がポイ捨てされたことによって生じたものであることがわかりました。これらポイ捨てごみが河川を通じ、海へと流出することによって、回収処理が困難となります。海を漂うごみ、特に、プラスチックごみが分解された細かいかけら(マイクロプラスチック)等が生態系へ悪影響を与えることも懸念されています。そこで、海ごみの問題について理解を深めていただき、その対策や生活の中で気を付けること等をお話しします。	資源循環推進課 一般廃棄物グループ TEL:052-954-6234 FAX:052-953-7776 junkan@pref.aichi.lg.jp
環境	8-21	あいち森と緑づくり税を活用した取組 ～山から街まで緑豊かな愛知をめざして～	《体験あり》 様々な働きで私たちの快適な暮らしを支えてくれている森や緑を健全な状態で将来に引き継いでいくために「あいち森と緑づくり税」を活用し、人工林、里山林、都市の緑を整備、保全するための取組を進めています。この取組内容について、御紹介します。	森林保全課 森と緑づくり推進室 森林里山再生グループ TEL:052-954-6455 FAX:052-954-6937 mori-midori@pref.aichi.lg.jp
産業・雇用	9-4	伝統的工芸品産業の現状と振興について ～知ってますか?あいちの伝統的工芸品～	愛知県には有松・鳴海絞を始め、国の指定を受けた伝統的工芸品が13品目あり、国や県などが連携してその振興を支援しています。手作りによる温もりや、生活に潤いを与える個性的な生活用品である伝統的工芸品の良さと、各産地の取組を御紹介します。	産業振興課 繊維・窯業・生活産業グループ TEL:052-954-6341 FAX:052-954-6976 sangyoshinko@pref.aichi.lg.jp

平成29年度「県政お届け講座」テーマ一覧

※ テーマ名のリンクを押すと申込のための電子申請システム画面に移行します。

分類	テーマ番号	テーマ名	内容	連絡先
産業・雇用	9-7	新エネルギー、水素社会について	愛知県では、新エネルギー関連産業の振興を図るため、「新エネルギー実証研究エリア」において、新エネルギー関連技術の実用化に向けた企業の取組を支援しています。また、「愛知県庁水素社会普及啓発ゾーン」や「水素エネルギー社会形成研究会」を通じて燃料電池自動車(FCV)や水素ステーション、水素社会に関する普及啓発を実施しています。 当講座では、県の新エネルギー関連産業の振興や、水素社会の実現に向けた取組について分かりやすく御紹介します。	産業科学技術課 新エネルギー産業グループ TEL:052-954-6350 FAX:052-954-6977 san-kagi@pref.aichi.lg.jp
産業・雇用	9-11	シンクロtron光が可能にする最先端の科学技術 ～あいちシンクロtron光センターの活用について～	《体験あり》 最先端の科学研究や先端技術に用いることができ、「夢の光」と呼ばれるシンクロtron光は、ほぼ光速で直進する電子が電磁石によって進行方向を変えられた際に発生する光(電磁波)のことです。 あいち産業科学技術総合センターでは、企業の方々が、新技術・新製品の開発において、この最先端技術を有効に活用する取組を支援しています。 当講座では、シンクロtron光を活用した計測分析のしくみをはじめ、「知の拠点あいち」に立地する「あいちシンクロtron光センター」の活用方法や事例について御紹介します。	あいち産業科学技術総合センター 共同研究支援部 TEL:0561-76-8315 FAX:0561-76-8317 acist@pref.aichi.lg.jp
その他	10-7	県庁広報パーソンの仕事 ～愛知県の広報広聴事業～	愛知県では、広報事業として新聞広告(「広報あいち」)や愛知県提供のテレビ及びラジオ広報番組を始め、「インターネット情報局」やFacebookなど、県政情報を県民の皆様方にお届けしている他、広聴事業として「県政世論調査」、「パブリック・コメント」など、県民の皆様からの意見や要望をお聴きしています。ここでは、これらの事業を御紹介します。	広報広聴課 広報・広聴グループ TEL:052-954-6169 FAX:052-961-4016 koho@pref.aichi.lg.jp
その他	10-9	県有施設の老朽化対策	愛知県では、高度経済成長期等に集中的に整備した施設が更新や大規模改修の時期を迎えつつありますが、今後、厳しい財政状況が続く中で、施設の安全・安心を確保しながら、維持・更新に係る経費の軽減・平準化を図っていく必要があります。 このため、平成27年3月に施設の老朽化対策を軸とした基本方針を「愛知県公共施設等総合管理計画」として策定しました。この計画の内容と取組状況について御説明します。	財産管理課 財産利活用グループ TEL:052-954-6147 FAX:052-963-5357 zaisan@pref.aichi.lg.jp